

広報 やまの

No.141

2025.7.25

山野地域づくり協議会

南砺市飛騨屋20番地

TEL 0763-82-4510



ふれあい広場やまの リニューアルオープン

「ふれあい広場やまの」は、山野地域づくり協議会の特産委員会が毎年4月～12月の毎週土日に運営する直売所です。近隣農家の野菜や無印良品の商品などを販売し、地域に親しまれています。

開設11年目となる今年は、職人さんに役員も加わって売り場をリニューアル。4月19日の再開日には地域づくり協議会の高田会長、特産委員会の大浦委員長、川原市議を迎え、テープカットやご挨拶もいただき、多くの来場者でにぎわいました。外装やレジも一新され、より快適にお買い物ただけです。夏野菜が豊富になるこれからの季節、ぜひお立ち寄りください！



「楽しく、安心して暮らせる山野」
をめざして

山野地域づくり協議会長

藤原 洋

今年度から会長を務めさせていただくことになりました。まだまだ未熟ですが、どうぞよろしくお願いします。

さて、7月初旬のニュースランキングには、①トカラ列島の地震、②大谷翔平選手、③参院選、④日米の関税、⑤ゲリラ豪雨と、自然災害に関する話題が二つも挙がっています。また、昨年の能登半島地震や、今年2月の山火事の多さもあって、防災の大切さがますます感じられるようになりました。

このような背景もあり、今年度は防災・安全部の体制を見直し、「共助」（お互い助け合うこと）をキーワードに、防災計画の策定や訓練を進めていきます。また、「山野地区集落の教科書」がようやく完成し、全戸に配布させていただきました。この冊子は、山野に移住された方、これから移住を考えている方はもちろん、長く住んでいる皆さんにも、地域の魅力を改めて感じてほしい、山野が元気になるようにと願って作ったものです。是非、手の届くところに置いてご家族全員の皆様にご一読いただければ幸いです。

安心して楽しく暮らしていくためには、人と人とのつながりが何より大事だと思っています。サロンや「ふれあい広場やまの」、盆踊りやふれあい祭りなど、いろいろな交流の場がありますので、気軽に顔を出して、交流の輪を広げていただければと思います。

これからの2年間、「不易と流行」（受け継ぐべきものは残し、変えるべきものは変えていく）の考え方を大事にしつつ、アンケート『山野地区まちづくりの想い』をもとに、地域の皆さんと一緒に、「楽しく、安心して暮らせる山野」を目指して活動していきます。

山野の活性化に向けて



副会長
地域活性化部長
松川 毅

山野地域の活性化に向けて、特産委員会・活性化委員会・教科書委員会の三委員会が連携し、「強みを活かした地域づくり」と「住み続けたい生活環境の実現」に取り組んでいます。

特産委員会では、地域の特産「山野の里芋」を中心に、住民参加型の経済活動や交流の場づくりを進めています。毎年好評の「里芋掘り取り体験会」は、今年も10月下旬に9日間の開催を予定しています。また、直売所「ふれあい広場やまの」ではフェアの定期開催やレジ刷新を行い、販売促進と知名度向上を目指しています。

活性化委員会では、空き家対策や環境保全、送迎サービス「やまのりくん」など、日々の暮らしを支える取り組みを展開中です。

教科書委員会は、10地区の情報をまとめた「集落の教科書」を作成し、移住希望者や地域住民に配布しました。今後も住民の皆さまとともに、山野の魅力ある未来を築いてまいります。

山野地域づくり協議会に参加して



副会長
岩城 美智恵

このたび副会長という大役を任命され大変困惑している次第でございます。

私が協議会と係わったのは、赤字奉仕団員という立場で防災・安全部に配属された事からです。

昨年の能登半島地震を経験し、この地域でも災害が発生すると感じているところです。

山野地区が安全・安心で住みよい地区であるために共に助け合う事が出来る地域になればと願っております。

赤十字奉仕団の信条「すべての人々の幸せを願い、陰の力となつて人々に奉仕する」をモットーに地域に貢献出来る協議会を目指したいと思っています。



心の通い合うまちづくり



総務部長
高山 博文

引き続き、総務部長ならびに事務局長を務めさせていただく高山です。

総務部では、広報誌の発行やホームページの運営を通じ、正確で温かみのある情報の発信に努めてまいりました。環境美化や戦没者慰霊など、地域に根ざした活動にも積極的に取り組んでいます。

本年度は「結ネット」への全世帯登録をお願いし、平時・災害時ともに円滑な情報共有と安否確認を推進していきます。

今後は「伝わる広報」「心に残る情報発信」を目指し、地域の声に耳を傾け、時代に即した方法で皆さまとつながりを深めたいと思います。

山野交流センターが、より親しみやすく気軽に立ち寄れる場となるよう努めますので、より多くの皆さまのご利用を心よりお待ちしております。

地域の防災・安全の意識を高めて



防災・安全部長
波能 治男

防災・安全部では今年度より新たな体制に変わり、防災委員会と安全委員会の2つの委員会ができました。

防災委員会では防災避難訓練、防災計画の策定、防災備品管理、防災士の育成、自主防災活動、自主防災組織との連携等を行います。

安全委員会では防犯啓発活動、通学見守り活動、交通安全マスコット配布、安否確認体制の確立等を行います。

今年度の活動は、安否確認体制の策定や地区の防災マニュアルの作成を中心として、防災訓練では初期消火訓練とAED訓練を行う予定としています。

今回初めて防災・安全部の部長になり経験不足ではありますが、地域の防災・安全について色々考えて、少しでも意識を高めて参りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

健康福祉部に思いつくこと

健康福祉部長
磯辺 正博

磯辺 正博



新年度早々にイベントが始まりました。「いきいき健康サロン」での、音楽リズム体操は、懐かしのメロディーで盛り上がりました。地域の見守り活動を支える「ケアネットワーク」には、総勢30名を超える方々が参加して、わが地区の福祉の現状と対応状況について話し合いました。

また毎週火曜日の午後は、「健康マージャン」で運試しと腕前を披露し、初心者も楽しくプレイしています。この様に、健康福祉部では、継続をモットーに活動事業を組み立てています。

部の柱は三つ、①ケアネットワーク委員会、②ふれあい委員会、③ボランティア委員会です。先の活動のほか、敬老会、三世代交流、ほのぼのの家、フレイルチェックを各委員会で開催いたします。たくさんのご参加を期待しております。また、ボランティアに興味がおありの方々、一緒に企画運営に参加しませんか。多くの方の応援を頂き、継続を第一に、おおらかな気持ちを忘れず任に当たりたいと思います。

文化・スポーツ交流部の取り組み

文化・スポーツ
交流部長
河原 秀樹

河原 秀樹



地域の皆さん、こんにちは。引き続き文化・スポーツ交流部の部長を務めさせていただく河原秀樹です。

文化委員会では、世代を超えて賑わう三世代交流盆踊り大会や、地域の伝統と交流を育む山野ふれあい祭り（文化祭・敬老会）を予定しています。

スポーツ委員会では、「チャレンジスポーツやまの」や、人気の「太鼓の達人」大会（今年は8月・12月の2回開催予定）、そして白熱のビーチボール大会など、楽しみながら体を動かせる企画を揃えています。

さらに、毎月第2・第4土曜の午後には、山野交流センター2階のスポーツ室で、気軽に汗を流せる「わいわいスポーツデー」を今年度も継続してまいります。

こうした活動を通じて、地域の皆さまが自然とつながり、笑顔と絆が育まれていくことを願っております。一つひとつの取り組みを丁寧積み重ね、文化・スポーツの力で山野地域にさらなる活気と温もりを広げてまいります。

西村さん春の叙勲受章
おめでとーございます

山野地域づくり協議会の相談役、元南砺市消防団副団長の西村一郎さんが、春の叙勲において瑞宝単光章を受章されました。西村さんは、半世紀にわたり消防団活動に尽力され、地域の防災と安全確保に大きく貢献されました。

5月7日には富山県民会館で新田知事より勲章と勲記が授与され、さらに5月21日には皇居の豊明殿で天皇陛下に拝謁されました。これからも健康でさらなるご活躍をお祈り申し上げます。

令和6年度
山野地域づくり協議会
総会全議案原案通り可決

4月26日午後7時から山野交流センタースポーツ室で令和6年度総会が、定数85名のうち委任状含め役員、総代58名が出席して行われ、議長に坪野の総代山本優治さんが選任され議事が進められました。

令和6年度事業報告、決算及び令和7年度事業計画（案）、予算（案）が拍手多数で承認されました。次に役員改選では役員選考委員会により人選された藤原洋会長ほか12名の役員が拍手多数で承認されました。そのあと高田実前会長の退任挨拶、藤原洋新会長の就任挨拶があり、最後に川原忠史市議会議員から来賓祝辞を受け閉会しました。



山野分団優勝

市消防団操法大会

南砺市消防団の消防操法大会が6月29日、南砺市防災センター訓練場で行われ、ポンプ車操法の部で山野分団が見事優勝しました。

ポンプ車操法には3分団が出場し、訓練の成果を披露しました。ホースを延ばして放水し、的を落とすまでの所要時間や規律、敏しように性などで競いました。

上位2チームが7月26日の県下消防団消防操法大会に出場します。県大会でも日頃の練習の成果を遺憾なく発揮し、健闘されることを心よりお祈りしています。



環境美化運動 花苗の植え付け

総務部長 高山 博文

6月3日朝7時より、山野交流センターの花壇およびプランターにグリーンキーパーとボランティアの皆さんのご協力のもと、13種類・約400株の花苗の植え付け作業を行いました。

作業はおよそ1時間で完了し、参加者の皆さんの丁寧で手際のよい対応により、花壇やプランターには季節感あふれる彩りが広がりました。続いて、村岡豊彦さんが花壇に散水ホースを設置してくださり、今後の水やり作業がより効率的で負担の少ないものとなりました。花壇の整備にご尽力いただいたすべての皆さんに、心より感謝申し上げます。



令和7年度役員紹介 (3月以降決定分)

山野壮年会

会長	往蔵 千収(野)
副会長	稲垣 清人(軸)
〃	高田 礼彦(飛)
庶務	波能 治男(野)
監事	板橋 秀司(坪)
〃	山田 和成(山)
会計	岩倉 正晴(岩)
総務・広報委員	稲垣 清人(軸)
ふれあい委員	往蔵 千収(野)
文化委員	高田 礼彦(飛)
盆踊り実行委員	往蔵 千収(野)

山野青年会

会長	川原 直人(専)
副会長・広報委員	嶋 智也(清)
地域活性化委員	東城 力憲(山)
盆踊り実行委員	山下 幸司(岩)
文化祭実行委員	大野 弘毅(飛)
役員	高田 拓(高)
〃	藤原 和哉(坪)

児童クラブ育成連合会

会長	大島 智之(山)
副会長・広報委員	大浦 靖之(専)
〃(母親クラブ会長)	大島加奈子(山)
庶務	嶋 智也(清)
会計	新里 宏美(安)
監事	高田 喜裕(飛)
〃	大島加奈子(山)
ふれあい委員	嶋 智也(清)
〃	高田 瑞恵(飛)
文化委員	齊藤 剛彦(岩)
〃	高田 友紀(高)
スポーツ委員	守山 佳久(安)
〃	藤原香奈恵(坪)
活性化委員	大島 智之(山)
〃	鎌 寛子(専)
井波地区連合理事	藤原 和哉(坪)
〃	藤原香奈恵(坪)
クリスマス会	高田 喜裕(飛)
〃	榎木 温子(岩)

令和7年度 山野地域づくり協議会 各委員会委員

総務委員会

高山 博文（委員長）
 齋藤 義宏 村岡 佳篤
 堀 直毅 河原 秀樹
 河原 正明 吉田 達雄
 稲垣 清人 嶋 智也
 高田かおる

広報委員会

高山 博文（委員長）
 齋藤 義宏 村岡 佳篤
 堀 直毅 河原 秀樹
 梧桐 明朗 吉田 達雄
 稲垣 清人 嶋 智也
 大浦 靖之 大島加奈子

防災委員会

波能 治男（委員長）
 長谷川義晃 岩城美智恵
 竹原 賢一 山本有紀子
 藪 晴美 吉田 平進
 高山 貴之 松田 清
 岩倉 正晴 堀 直毅
 佐竹 弘昭 嶋 喜彦
 梧桐 明朗

安全委員会

岩城美智恵（委員長）
 高田 実 武田 順治

ボランティア委員会

齋藤 幸宏 西村 一郎
 稲垣 清人 岡野 高志
 柴田 芳雄 村岡 豊彦
 谷口 繁慶

川上 久志（委員長）
 磯邊 正博 高田かおる
 川上 裕子 齋藤 仁美

ケアネット委員会

長谷川光徳（委員長）
 藤原 真美（副委員長）
 武田 順治 柴田 芳雄
 岩崎 宏志 齋藤 嘉明
 長谷川秀伸 堀 直毅
 河原 正明 山田 義弘
 森井 徹 梧桐 明朗
 大浦 智子 松川 久
 稲垣 俊広 村岡 洋子
 川合 慶夫 西村 英一
 野原 明美 岩崎 豊久
 高田真由美 長谷川義晃
 堀 律子 堀尾 長信
 大浦 徹 村岡 里美

ふれあい委員会

稲垣 俊広（委員長）
 村岡 洋子（副委員長）

教科書委員会

山田 義弘 森井 徹
 齋藤 幸宏 往蔵 千収
 嶋 智也 高田 瑞恵
 川合 慶夫 西村 英一
 野原 明美 岩崎 豊久
 高田真由美 長谷川義晃
 堀 律子 堀尾 長信
 大浦 徹 村岡 里美
 高田かおる 大浦 智子
 長谷川光徳 藤原 真美
 松川 久

高木 権一（委員長）

松川 毅 前川 達夫
 齋藤 仁美 松川 恵里
 越山 穂高 永山 大
 岩城美智恵

活性化委員会

佐竹 弘昭（委員長）
 西村 源信 岩崎 宏志
 高木 権一 東城 力憲
 大島 智之 鎌 寛子
 高田 実 高山 一登
 岩倉 正晴 松川 恵里
 松川 毅 村岡 洋子

特産委員会

大浦 英征（委員長）
 岩崎 修 細川 竜政
 岩崎 豊久 高山 璃奈

文化委員会

堀 直毅 河原 光顕
 森井 孫俊 西村 一郎
 高田かおる 松川 毅
 川合 優子 大浦 順子
 村岡 洋子

スポーツ委員会

山田 義弘（委員長）
 岩崎 修 崎田 栄信
 綿貫 哲 吉田ひろみ
 境 有司 前川久美子
 松川 陽子 高田 礼彦
 往蔵 千収 大野 弘毅
 山下 幸司 齋藤 剛彦
 高田 友紀

榎木 勝規（委員長）

浅井 吉紀 西村千佳子
 齋藤 眞二 齊藤 昌弘
 高山 真一 田中 幸
 柴田三希子 柴田 将吾
 越山 穂高 前川 恵弓
 大矢 英明 長谷川雅弘
 松原 数喜 小林 憲司
 西村 卓朗 崎田 健史
 谷川 快男 高田 龍輔
 高山 憲一 村岡 裕一
 野村 昌浩 新里 史朗
 吉田 陽子 林 千夏
 守山 佳久 藤原香奈恵

山野地域づくり協議会1年の歩み

令和6年度 事業報告

- 総 会** 令和6年5月25日、令和5年度総会を山野交流センター2階スポーツ室で開催。
全議案賛成多数により原案通り可決されました。
- 地域活性化部** 里芋で元気なまちづくり事業として里芋植付と収穫・販売、里芋掘り取り体験会（10月）392組参加、ふれあい広場「産直の店」開設（4月後半より）
保育園児とのサツマイモとイチゴの収穫体験交流会、住民主体の移動サービス「やまのりくん」実施、だれでも・なんでもサロン開設（毎週火曜日 年48回開催）
集落の教科書作成 3月21日ホームページに掲載
- 健康福祉部** ケアネット委員会・研修（年3回）、ふれあい祭り（敬老会）米寿表彰、敬老饅頭配布
地域でまると健康教室（6月）延べ42名参加、三世代交流事業もちつき（12月）、
3無健康マージャン大会（年3回開催）、フレイルチェック（7月、2月）、
ほのぼのの家（3月）
- 文化・スポーツ交流部** わいわい健康スポーツDay（毎月第2・4土曜日 年6回開催）
立山登山（8月）、盆踊り大会（8月）、ふれあい祭り（10月文化祭）
チャレンジスポーツやまの（9月）、エンジョイビーチボール大会（3月）、
e-スポーツ太鼓の達人大会（12月）26名参加
- 防災・安全部** 交通安全マスコット配布
防災備品展示
- 総 務 部** 「広報やまの」年3回発行、戦没者慰霊祭挙行、ホームページ随時更新、春・冬花壇の花植え、
球根植え、農村公園、慰霊碑前、保育園園庭草刈、環境美化、地域内道路維持サポート事業
- ボランティアグループ** サロン「いきいき健康教室」（毎月第1・3金曜日 年24回開催）
- * その他 井波地域、南砺市地域づくり協議会連合会 生涯学習連絡協議会 事務局長情報交換会地域づくりセミナー等に参加。各部各委員会の会議が開かれています。

令和7年度 事業計画

- 総 会** 令和7年4月26日 山野地域づくり協議会第6回通常総会が開催され、全議案賛成多数で原案通り可決されました。
- 地域活性化部** 住民主体の移動サービス「やまのりくん」継続
里芋で元気なまちづくり事業として里芋栽培・収穫、販売実施（いもっこ倶楽部）
ふれあい広場やまの（産直の店）リニューアルオープン
イチゴやサツマイモの収穫体験を通して山野保育園児と交流
だれでも・なんでもサロン毎週火曜日開催、空き家対策事業、集落の教科書全戸配布
- 健康福祉部** ケアネット委員会、視察、研修
地域でまると健康教室フォローアップ事業（6月）
ふれあい祭り（10月敬老会） 米寿表彰、敬老饅頭配布
山野健康マージャンサロン 年3回（7月、12月、3月開催）
ほのぼのの家開催（2月）、三世代交流事業（12月）
だれでも・なんでもサロン 毎週火曜日（地域活性化部と共催）
とやま健康パーク南砺市の日（11月）
- 文化・スポーツ交流部** パークゴルフ大会（7月）、立山登山（8月）、盆踊り（8月）、
チャレンジスポーツやまの（9月）、山野ふれあい祭り（10月文化祭）、
e-スポーツ大会（8月、12月）、エンジョイビーチボール大会（3月）、
わいわい健康スポーツDay（毎月第2、4土曜日午後オープン）
- 防災・安全部** 防災訓練、地域防災計画の策定
交通安全マスコット配布
- 総 務 部** 「広報やまの」年3回発行、戦没者慰霊祭挙行、ホームページ随時更新
交流センター内外の環境美化活動、花壇の整備、地域内道路維持サポート事業

令和6年度山野地域づくり協議会決算報告書

収入の部

(単位:円)

項 目	決算額	摘 要
繰越金	3,624,288	令和5年度繰越金
南砺市交付金、補助金	9,099,300	住民自治推進交付金、男女共同参画補助金
富山県補助金	500,000	県中山間地支援事業（特産委員会特別会計繰入分、集落の教科書分）
南砺市社会福祉協議会	941,000	
会費	1,318,200	507世帯×2600円
招魂社維持費、更生保護募金	86,190	507世帯×170円
雑収入	414,631	コピー代、施設維持協力費等
事業収入	202,350	盆踊り、ふれあい祭りバザー
会費（事業）	152,700	立山登山、健康マージャン、慰霊祭、料理教室
公租公課（固定資産税）	121,949	第1～第4機械管理組合
合 計	16,460,608	

支出の部

(単位:円)

項 目	決算額	摘 要
会議費、役務費、需用費	701,026	総会、役員会、保険、固定資産税等
文化・スポーツ交流部	1,036,220	ふれあい祭り、立山登山、盆踊り大会、チャレンジスポーツやまの等
地域活性化部	1,034,303	特産委員会活動費、やまのりくん、だれでも・なんでもサロン等
健康福祉部	489,163	ふれあい祭り、ケアネット活動、ほのぼのの家、三世代交流会等
防災・安全部	61,836	防災活動、交通安全マスコット
総務部	706,768	広報誌、地域内道路等維持サポート事業ほか環境美化等
委託費、地域づくり助成	1,193,920	自治会、各種団体へ助成(山野分団含む)
通信費、光熱費	1,064,095	電話料、受信料、ガス、電気、水道、灯油
備品費、管理費	633,281	ノートパソコン、CDラジカセ、コピー機レンタル、消防設備点検等
負担金、研修費	396,240	各部各種負担金、会費等
推進人件費	4,646,389	職員給与、役職手当
修繕費、諸雑費	357,828	事務所扉修繕、事務所照明器具取替、消防設備修繕等
慶弔費	10,000	
特産委員会特別会計繰入金支出	250,000	特産委員会特別会計へ繰入金支出
繰越金	3,879,539	
合 計	16,460,608	

令和7年度山野地域づくり協議会予算

収入の部

(単位:円)

項 目	予算額	摘 要
繰越金	3,879,539	
南砺市交付金	9,424,000	
南砺市社会福祉協議会	935,000	
県補助金	820,000	県中山間地支援事業（集落の教科書分）、地域防災力向上支援事業
会費	1,318,200	507世帯×2,600円
招魂社維持費、更生保護募金	86,190	507世帯×170円
雑収入	430,622	コピー代、施設維持協力費、貯金利息等
事業収入	250,000	盆踊り、ふれあい祭りバザー
会費（事業）	200,000	立山登山、慰霊祭等
公租公課（固定資産税）	121,949	第1～第4機械管理組合
合 計	17,465,500	

支出の部

(単位:円)

項 目	予算額	摘 要
会議費、役務費、需用費	752,000	総会、役員会、保険、固定資産税等
文化スポーツ交流部	1,202,000	盆踊り、ふれあい祭り、立山登山、eスポーツ大会等
地域活性化部	1,210,000	送迎サービス、だれでも・なんでもサロン、集落の教科書等
健康福祉部	824,000	敬老会、ほのぼのの家、ケアネット活動、健康づくり推進事業等
防災・安全部	1,126,000	防災訓練、防災備品、防災力向上支援事業備品、交通安全マスコット等
総務部	872,000	広報誌、戦没者慰霊祭、地域内道路等維持サポート事業、結いネット等
委託費、地域づくり助成	1,255,000	自治会、各種団体へ助成（山野分団含む）
通信費、光熱費	1,100,000	電話料、受信料、ガス、電気、水道、灯油
備品費、管理費	850,000	パソコン、コピー機レンタル等
負担金、研修費	400,000	各部各種負担金、会費等
推進人件費	4,963,289	職員給与、役職手当
修繕費、諸雑費	470,000	洗剤、消臭剤、ゴミ袋、電球等
慶弔費	20,000	
特産委員会特別会計繰入金支出	0	
予備費	2,421,211	
合 計	17,465,500	

山野の魅力紹介

6

しゅうむ きらくかん 秀夢木楽館

地元の人に
利用して
もらうことが
何よりうれしい



山田由理枝さん

1階 キッチン付きダイニング



2階 寝室



3階 談話コーナー

今年4月、民泊・交流施設「秀夢木楽館」が営業を再開しました。

この施設は、彫刻作家・故横山一夢氏の美術館として昭和58年に建設されたもので、館内には氏の彫刻作品のほか、希少な天然木をふんだんに使用した空間が広がっています。平成22年に美術館が閉館されるにあたり、「この建物を残したい」という強い思いから、建築住宅・不動産業の山秀木材が取得。リノベーションを経て、同社の展示館として再オープンしました。

8年前からはAirbnbを活用し、民泊・交流の場としても利用されてきましたが、コロナ禍の影響により、4年間の休業を余儀なくされました。さらに赤字も続いたことから、山秀木材は売却も検討していました。

そんな中、同社専務の山田由理枝さんが「この茶室と木のぬくもり、そして地

元の人々に愛されてきた建物を残したい」との強い思いから、個人で取得。今年3月には旅館業の営業許可を取得し、4月から営業を再開しました。

建物は鉄筋コンクリート造り5階建て、延べ床面積712㎡

- ・1階にはキッチン付きのダイニングスペースがあり、宿泊者に限らず食の交流の場としても活用できます。
- ・2階は定員10名の寝室で、天然木をふんだんに使用した落ち着いた雰囲気のある空間です。
- ・3階は多目的室となっており、地元グループによるベビーマッサージ教室や「彩むすび書の会」など、多彩な活動に利用されています。
- ・4階には本格的な茶室が、5階には欄間の意匠を活かした和室が設けられています。

館内には地元作家による木彫刻作品が随所に展示されており、まるでミニ美術館に滞在しているかのような、贅沢なひとときを味わえます。

山田さんは「この建物が地域の交流拠点として活用されることが何よりう

れしい」と語ります。そのため宿泊は全館貸し切り（10万円）とし、法事での利用や会食など、利用者のアイデア次第で自由な使い方が可能です。これまでも企業や大学が全館貸し切りで研修会やイベントを開催し、夜は食事をとりながら意見交換をし、そのまま宿泊されるケースがありました。最近では、日常を離れてゆったりと過ごせる施設として口コミで広まり、幅広い層から予約が入るようになっていきます。昨年1月の能登半島地震では、南砺市で震度5弱が観測されました。しかし、同時刻に当館を利用していただけた方によると、揺れはまったく感じず、コーヒーマップもまったく動かなかったそうです。災害時でも安心して利用していただける施設だと、山田さんは語っていました。

編集後記

山野交流センターの規模改修工事が6月25日から10月3日までの期間で行われています。工事内容は、スポーツ室の内壁塗装、調理室・会議室棟の外壁角波トタン張り、外壁の全面塗装などです。なお、期間中は交流センター外部全体に足場が設置されます。ご利用の際は、安全に十分ご注意ください。

工事完成後は皆さんにこれまで以上に気持ちよく使ってもらえるものと思いますので、今しばらくご辛抱ください。

（広報委員会）